

上下水道耐震化計画の策定について

令和7年3月4日
八戸圏域水道企業団
経営審議会

内 容

1. はじめに
2. 策定理由
3. 定 義
4. 計画の策定
5. 計画の内容

1. はじめに

1) 背景・目的

令和6年能登半島地震で、避難所や待避所などの重要施設に接続する水道・下水道の管路等について耐震化の重要性が改めて明らかになった。

このため国土交通省では、施設の耐震化状況について緊急点検を行った。

1. はじめに

2) 緊急点検の結果（令和5年度末時点）

青森県 重要施設に接続する水道管路、下水道管路、ポンプ場の全てが耐震化されているのは27%

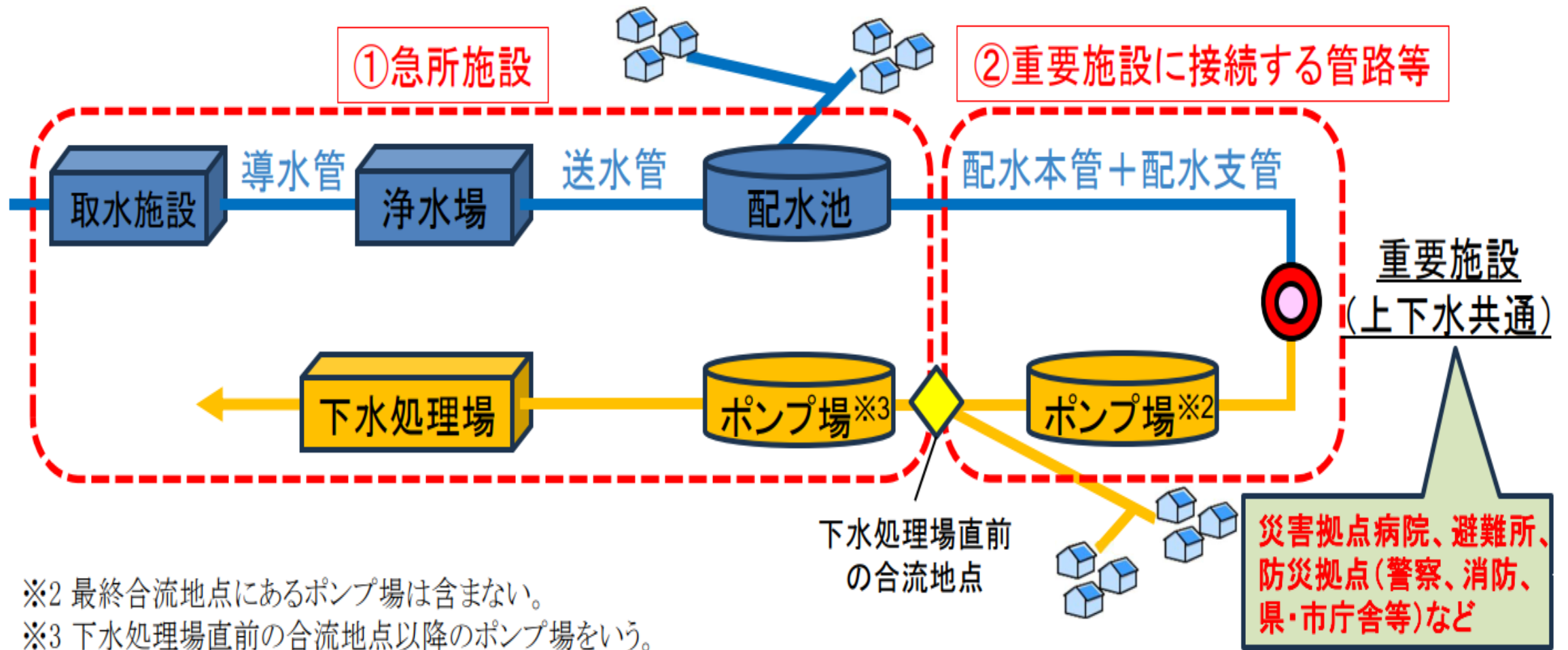
八戸市 重要施設に接続する水道管路、下水道管路、ポンプ場の全てが耐震化されているのは0%

※デーリー東北 2024年11月2日 記事から抜粋
東奥日報 2024年11月2日 記事から抜粋

2. 策定理由

- 令和6年能登半島地震を受け、国土交通省（令和6年9月24日付け国官参水第64号）において全公営水道事業者・下水道管理者へ策定指示
- 災害時においても避難所等の重要施設で上下水道が使用可能な状態となるよう求められている

3. 定義



4. 計画の策定

- ① 当企業団と下水道事業者（構成7市町）が共通する重要施設の設定
- ② 下水道事業者との工事計画の調整・決定
- ③ 計画期間は概ね20年間（令和26年度終了）
- ④ 特に令和7年度から令和11年度（5箇年）で上下水道管路耐震性保有済みとなるように施設15箇所

重要施設選定の優先ポイント

- ・ 既に事業計画済みの路線
- ・ 下水道工事着手予定の重要施設路線であること
- ・ 施工延長・施工性を考慮した耐震性確保済み施設の確保

5. 計画の内容

5.1 重要施設

	下水道区域内	下水道区域外	計
八戸市	41	12	53
三戸町	3	0	3
五戸町	10	1	11
階上町	0	2	2
南部町	3	6	9
六戸町	3	1	4
おいらせ町	4	1	5
計	64	23	87

下水道区域内、外区分設定について

下水道区域内: **上下水道機能**の確保が必要な重要施設

下水道区域外: **水道機能**の確保が必要な重要施設

(汚水処理施設管理者より汚水処理施設耐震化状況・計画確認)

5. 計画の内容

5.2 5年後の耐震化率目標

	R6年度 耐震化率	⇒	R11年度 耐震化率	増加分
取水施設	32.2%	⇒	32.2%	0.0%
導水施設	75.5%	⇒	75.5%	0.0%
浄水施設	42.1%	⇒	42.1%	0.0%
送水施設	85.3%	⇒	85.3%	0.0%
配水施設	49.7%	⇒	51.6%	1.9%
ポンプ所	94.3%	⇒	94.3%	0.0%
重要施設接続配水管				
下水道区域内	61.9%	⇒	69.2%	7.3%
下水道区域外	33.2%	⇒	42.4%	9.2%

耐震化延長
(約9.9Km)
(約5.9Km)

5. 計画の内容

5.3 5年後に上下水道管路共に耐震化率が100%となる重要施設数及び施設名

	下水道 区域内	下水道 区域外	合計
八戸市	8	3	11
三戸町	1	0	1
五戸町	2	0	2
階上町	0	1	1
南部町	0	0	0
六戸町	0	0	0
おいらせ町	0	0	0
合計	11	4	15

下水道 区域	下水道処理区域内外における避難所等の重要施設	
	施設数	施設名称
区域内	11	八戸市 8施設 八戸市立市民病院、第一中学校、城下小学校、 八戸消防本部、八戸城北病院、長根屋内スケート場 八戸市総合福祉センター、桔梗野小学校 三戸町 1施設 三戸中央病院 五戸町 2施設 五戸町役場、五戸小学校
区域外	4	八戸市 3施設 県立八戸工科学院、白銀南中学校、旧田代小中学校 階上町 1施設 道仏交流センター

ご清聴ありがとうございました